

## チャンスはある。

まぐまぐ殿堂入り・日刊メールマガジン

「今日のフォーカスチェンジ」第2671号  
(2011年2月21日発行)より

とても楽しみにしていたことが、実現しなくなるかもしれない、という事態におちいりました。理由は、自分にとっては、納得のいくものではないけれど、全体の流れのなかで、そうなってしまいそうなのです。

こんなとき、いろいろな考えかたがあります。「あきらめずに、ありとあらゆることをする」という方法もあります。でも、自分ひとりでかかわっているのではない場合には、自由に行動できないことも、ときにはあります。

逆に、「すっぱりあきらめて、なかったことにする」という考えかたもあります。

それはいかにも残念だなあと感じていたとき、ふっと浮かんできたことば

があります。「チャンスはある」です。

いえ、本当は、そう思った瞬間に、反論のことばが浮かんだのです。「こんなチャンスはもうないよ」

でも、そう思った次の瞬間に、また、ことばが湧いてきたのです。「こんなチャンスはもうないけど、もっと大きなチャンスが、待っているかもしれないよ」。そこで、ようやく、自分の気持ちに踏ん切りがつかしました。

いましかない、これしかないと思う気持ちも、まちがいはありません。でも、それは同時に、執着となって、自分をしばることにもなります。

ものごとが動かないときには、動かない理由があるのです。いまは、動くようになるために、少し待つ必要があるのかもしれませんが。そのあいだに、何かを学んだり、たくわえたりする必要があるので、それをしっかり考えるチャンスなのかもしれ

ません。

そう。目の前のことをあきらめても、この先のチャンスをあきらめるわけではないのです。もっと言えば、この程度のことばで、弱音を吐くくらいなら、結局、その程度の気持ちしか、もっていないなかったのか、ということにもなります。

「チャンスはある」。こころのなかで、もう一度、しっかりかみしめました。「もっと大きなチャンスが、絶対にある」。そのことを、ただ、信じることに決めました。

信じる、ということは、その方向を見る、ということです。宇宙の法則「見つめたものが拡大する」。これはまぎれもない真実なのですから。

そして、あとは、それまでに自分が何をなすかです。結局、自分に還ってくるのです。自分の課題なのです。

たぶん、10年先に、いまの自分を振り返ったら、「ちいさいことで悩んでいたな」と、笑っていることでしょう。その自分を先取りすることにします。

ええ、10年先の自分に声をかけてもらうんです。「なーんだ、ちいさいことで悩んで、つまらないなー。いまは、もっともっと、大きなチャンスを体験中だよ」ってね♪

そう決めたら、もう気持ちはすっきりしていました。あとは、いまの自分にできることを、一つひとつ、やっていきます。その先に、もっともっとおおきなチャンスが来ることを、楽しみに待ちながら、ね！

●日刊メールマガジン「今日のフォーカスチェンジ」(かめおかゆみこ編集・発行)は、**2003年11月1日**創刊。2010年12月、**2600号**達成。3秒で読める携帯版もあり。無料講読は「かめわざ快心塾」から♪

<http://kamewaza.com/>